

# 問題

二〇二三年度 入学試験問題

(三学部共通) 一般選抜 1期3日目

国語

時間 五〇分

## 注意事項

- 一. 試験開始の「合図」があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
- 二. 「受験票」は、机の上の受験番号票と並べて置いてください。
- 三. 試験開始・試験終了は、試験監督者の「始め」、「止め」の合図に従ってください。
- 四. この問題冊子のページおよび解答科目は、左の表のとおりです。

科目	問題ページ	備考
国語	1～10	

- 五. 解答用紙が別にあります。
- 六. 「始め」の合図後直ちに、解答用紙に受験番号のみを記入してください。
- 七. 試験室に入室してから試験終了までは退室を認めません。
- 八. 試験中に質問のある場合、または気分が悪くなった場合等には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- 九. 「止め」の合図後直ちに、筆記を止めてください。
- 十. 退室は監督者の指示に従ってください。「受験票」、「問題冊子」は持ち帰ってください。

〔I〕 次の文章を読んで、問いに答えなさい。なお、字数指定のある問いでは、句読点・記号も字数に数える。

通信回線の安定性が増し、参加者がシステムの操作に慣れていけば、オンラインでの少人数授業は、教室での対面授業とさほど変わらぬ双方向の応答を可能にすることが少なくない。それどころか、少なくとも授業への集中度や議論の密度では、対面以上にオンラインで高い効果を期待できる場合がある。オンライン上の教師と学生の応答には様々な仕組みが用意されており、教師側が教育方法を熟達させていけば、より正確にそれぞれの学生の理解度を個別に観察でき、学生からより低いハードルで反応を引き出していくこともできるからだ。

実際、オンライン授業の受講学生からは、「大教室の授業よりも発言しやすく、チャットも意見を書きやすい」「遠隔でも対話は<sup>①</sup>円滑で、自分の意見を全員に知ってもらえる」といった感想が、教員からは、「学生の発言回数が通常の授業よりも圧倒的に増えた」「対面よりも密度の濃い授業ができるかもしれない」といった感想が聞かれる。二〇二〇年夏頃までの感想を総合すると、オンラインの双方向授業には、<sup>a)</sup>予想以上にポジティブな反応も少なくない。

もちろん課題もあり、同時双方向型の授業では、学生の授業へのコミットメントが高まる一方、参加者相互に横で討論するのが簡単ではない。また、初対面の学生がお互いに仲良くなることや、参加者が場の雰囲気をつかむのにも困難が伴う。つまり、授業に参加する学生たちがある種のコミュニティを形成していくには、オンラインの対話だけでは難しいのである。さらに、学生はこれまでのところ、しばしば通信量節約のためにカメラをオフにするが、そうするとお互いの距離がまるで見えなくなり、その場の共有感は一挙に弱まる。(1)的に離れ離れでも、お互いの顔が見えていることが(2)的に重要なのである。

こうした技術的問題はしかし、比較的早期に解決されていくだろう。比較的少ない通信量でお互いの表情を見ながら対話が続けられる技術的環境が整備されるはずだ。端末の普及や通信コストの問題も、いずれ解決する。経済的理由から端末を持っていない学生には、大学や公的機関が無償で<sup>②</sup>貸与する仕組みを整えなければならない。通信コストの問題も、経済的理由から限界を抱えている学生を補助する仕組みが必要である。小中高校でも同じだが、オンラインの基盤は教育の機会均等を保障する基本的条件である。これらは新しい施設を建設する費用に比べれば、はるかに安いコストである。今後、大学は全体として、<sup>b)</sup>コンクリートからオンラインへと予算の比重をシフトさせていかなければならないはずだ。

しかし、これらのすべての課題が解決されていったとしても、まだ残る問題がある。実技系や実験系の授業では、教師と学生が実際に同じ空間にいないだけで済まないことが少なくなく、オンライン授業には限界がある。あるいは、ワークショップやフィールドワークが中心の授業

もオンラインには<sup>③</sup>代替できない。これらはいずれも、具体的な空間や場所に学生が身を置くこと自体に価値があるからだ。したがって、大学も完全にオンライン化されることは不可能であり、望ましくもない。未来の大学は、いずれにせよ（3）となる。

オンライン授業において、<sup>(c)</sup>教師と学生が同じ時間を共有しているか、それともしていないかの差は大きい。時間の共有は、両者の間にコミュニティを形成させる最低限の条件である。しかしその場合、各科目の学生数が問題となってくる。たとえば、参加者が二〇人以下であれば、教師はオンラインでも全員から反応を引き出し、参加者相互の議論も活性化させることができる。しかし、参加者が五〇人、一〇〇人の規模になると、オンライン上では学生を「マス」としてしか認識できなくなる。（4）、チャット機能を使って学生から質問を出してもらうことはできるが、画面の向こうに誰がいるのか、実感ではつかめない。個と個の具体的な関係性が<sup>④</sup>トクメイ化されるのである。そうすると、授業はどうしても<sup>(d)</sup>一方通行的になる。その場合、コスト面からも、学生の<sup>⑤</sup>リベン性という面からも、大学はオンデマンド配信型を選択していく。

大教室授業だと教師と学生のインタラクションは必然的に失われると思われるが、実はそんなことはない。熟達した教師は、対面ならば大教室の授業でも学生との間に対話的關係を形成していくことはできる。たとえば、一〇〇人の学生がいる授業で、一人平均一五秒の発言ならば、全員が発言しても三〇分以内である。九〇分授業で、教師の話は五〇分以内に収め、その途中で突然、この種の学生とのやり取りの時間を取ることができる。学生の自発的な発言を待っているのは時間切れになるから、教室のどこかの席から順に発言させていく。どこから始めるかは、その時々々の教室全体の反応を見て、反応が少し悪そうな席から始める。

当てられた学生が沈黙していると、「また後で当てるね」と言っておく。しばらくして、別の話題で同じ学生にまた発言させる。ただ単位が欲しいだけの学生は、こんな教師の授業はおそらく敬遠するだろう。昔の大学によくあった放任主義にもいいところがあったが、最近では、<sup>(e)</sup>大学は出席管理を厳密化しているので、学生たちには出席の習慣がある。しかし、出席しているからといって、その学生が授業に真剣に参加しているとは限らない。出席した以上、学生は本気で授業に参加すべきである。教師には学生に発言させる権限があり、どのタイミングで誰に発言させ、学生間でどう対話を活性化させていくかが留意すべきポイントとなる。自分の手持ちの知識を学生に伝えるためだけに教師がいるのでは断じてない。

<sup>(f)</sup>こうした授業はしかし、オンラインで実現するのは困難である。実際の教室ならば、<sup>⑥</sup>キヨウダンに立つ教師は空間的な肌感覚として、どのあたりの学生が食いついてきており、どのへんの学生は「引いている」かを感じている。だから、ちよつとあの席に矢を放っておくのがいいと瞬間的に判断する。しかし、オンラインではこうした空間感覚で相手の反応を感じること

ができない。つまり、大規模なオンライン授業では、実際の教室のような仕方では教師と学生が向き合えない。<sup>(g)</sup> どうしても配信型が中心となるなかで、なお教師と学生の対話的な関係はいかに可能なのか――。大規模なオンライン授業で受講生から有効な反応を引き出すには、実空間の場合とはまったく異なる方法論や仕組みが必要なのだ。配信するコンテンツを作り込み、学習支援の仕組みを精密に設計しなければならぬのである。

(吉見俊哉『大学は何処へ 未来への設計』より。ただし、一部改変してある。)

問一 傍線④・⑤・⑥のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線①・②・③の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問三 傍線(a)「予想以上にポジティブな反応も少なくない」とはどういうことか、最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 予想以上に肯定的な反応が全くない
- イ 予想以上に肯定的な反応が結構ある
- ウ 予想以上に否定的な反応がとても多い
- エ 予想以上に肯定的な反応が相当少ない
- オ 予想以上に否定的な反応が全然ない

問四 空欄(1)・(2)に入る語の組み合わせとして最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 1 遠隔 2 対面    イ 1 物理 2 雰囲気
- ウ 1 距離 2 対面    エ 1 遠隔 2 心理
- オ 1 物理 2 心理

問五 傍線(b)「コンクリートからオンラインへと予算の比重をシフトさせていかなければならないはずだ」とあるが、その理由として最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア オンライン授業の環境整備が必要とされている上、施設の建設より低コストだから。
- イ オンラインの技術的環境が整備されても、授業を実施する教室は必要だから。
- ウ オンラインの技術的問題が解決されていくに従い、通信環境の整備が必要だから。
- エ 教育の機会均等を保障する基本的条件は、施設充実とオンラインの基盤整備だから。
- オ 通信コストはいずれ安くなるはずだが、大学の建物の建設費は変わらないから。

問六 空欄（ 3 ）に最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア オンラインだけの単独型      イ オンラインが主で対面が従の複合型
- ウ オンラインと対面の複合型      エ 対面が主でオンラインが従の複合型
- オ 対面だけの単独型

問七 傍線(c)「教師と学生が同じ時間を共有している」の具体例として最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 教師と学生が同じ空間や場所に身を置いている。
- イ 学生たちがある種のコミュニティを形成している。
- ウ 教師と学生との間に対話的関係が形成されている。
- エ 授業に参加する学生たちがお互いに仲良くなっている。
- オ 学生の誰に発言させるかに教師が留意している。

問八 空欄（ 4 ）に最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア しかも      イ つまり      ウ ときに      エ もちろん      オ すると

問九 傍線(d)「一方通行」と反対の意味で使われている語をこれより前の部分から三字で探し、記入しなさい。

問十 傍線(e)「大学は出席管理を厳密化しているのを」を文節に区切ったものとして最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 大学は／出席／管理を厳密化／しているの
- イ 大学は／出席管理を／厳密化している／ので
- ウ 大学は／出席管理を厳密化／しているの
- エ 大学は／出席／管理を厳密化して／いるの
- オ 大学は／出席管理を／厳密化して／いるの

問十一 傍線(f)「こうした授業はしかし、オンラインで実現するのは困難である」理由として最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア オンライン授業では、学生が授業に真剣に参加しているとは限らないから。
- イ オンライン授業では、教師と学生との間に対話的関係を形成できないから。
- ウ ワークショップやフィールドワーク中心の授業は、オンライン化が不可能だから。
- エ オンライン授業は、どうしてもオンデマンド配信型が中心となるから。
- オ オンライン授業では、教師には学生に発言させる権限がないから。

問十二 傍線(g)「どうしても配信型が中心となるなかで、なお教師と学生の対話的な関係はいかに可能なのか」とあるが、オンライン授業で対話的な関係を可能にするために、何が必要だと筆者は述べているか、文章中から二十二字の語句を探し、記入しなさい。



〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、問いに答えなさい。なお、字数指定のある問いでは、句読点・記号も字数に数える。

リベラリズムに対する、理論的・思想的にはよりいっそう反駁はんぱくしたいライバルは、環境倫理に基づくエコロジー思想である。今日、地球の自然環境を維持すべきであるとする理念は、われわれがコミット注三しなくてはならない理念として、自由の理念と同程度に、あるいはそれ以上に広く支持されている。だが、<sup>(a)</sup>二つの理念の間には、深い矛盾の亀裂が走っているのである。このことを理解するためには、環境問題の焦点が、この問題の深刻さが自覚された当初にあたる一九六〇年代から七〇年代の初頭にかけての時期と、現在では、大きくシフトしていることを考慮しなくてはならない。

六〇年代、七〇年代にレイチエル・カーソンやローマ・クラブが提起した問題は、公害であり、また地球の地下資源の量的限界であった。ところで、リベラリズムのミニマムな定義は、他者に危害を加えない限り何をしてよい（消極的自由）ということである。公害や地下資源の量への配慮は、「他者に危害を加えない限り」という自由への制約にはなるが、それを不可能なものにしてしまうわけではない。言うまでもなく、石油の<sup>①</sup>マイソウ量の範囲内の、また不適切な農業を使用しない範囲内の自由が、許容される。

他方で、八〇年代末期以降の環境問題の中心的な焦点は、二酸化炭素等のガスの排出による地球の温暖化や環境中あらゆるところに分布している有害な物質の増大である。こうした問題の下では、「(消極的)自由」の領域を定義する「他者に危害を加えない範囲」が、<sup>(b)</sup>完全に封殺されてしまう。たとえば、二酸化炭素を排出しない限りで何をしてよい、と言われたとしても、原理的には、このような行為はまったく存在しない。六〇年代、七〇年代に自覚されていた環境問題は、自由でありうる行為の集合の言わば外縁部に制約を課しただけだが、今日の環境問題は、制約を、行為の集合の全領域に<sup>②</sup>シンジュンさせたのである。

エコロジーの理念とリベラリズムとのこうした矛盾を、<sup>注七</sup>加藤尚武の<sup>③</sup>シサに従って、理論的に説明しておこう。近代の思想は、人間がその内部で生きている空間が無限であることを暗黙の前提としていた。だが、地球環境問題への意識は、そうした空間（地球）が有限であることへの痛烈な自覚から生ずる。たとえば、地球は、人間が二酸化炭素を排出し続けても大気中の二酸化炭素の比率を一定に保ちうるほどには大きくない。（１）空間の内にある限りは、他者に危害を加えない行為の範囲を指定することができる。だが、（２）空間の内部の行為は、必然的に、同じ空間に所属する他者に危害を加えることになる。このことは、<sup>④</sup>嫌煙権の比喩を用いると、ただちに理解することができる。かつては、喫煙は、自由な行為の選択肢の一つだった。だが、今日では、他者が近くにいる限りは、つまり狭い部屋では、喫煙は許さ

れない。逆に言えば、部屋が十分に広いときのみ、喫煙は他人に危害を与えない。だが部屋が（3）であれば、喫煙は、常に、他者に危害を与える行為に含まれるだろう。地球環境問題とは、地球という部屋が狭いということが改めて気づかれたことに端を発しているのだ。

（中略）

現在われわれは、「アフター・リベリズム」の段階にあると考えたくなるような、自由の理念の困難に直面している。だが他方で、今日われわれは、リベリズムがかつてなかったほどこに徹底してきた時代に生きていとも言える。しかも重要なことは、そのあまりの徹底性がかえってリベリズムの基本前提を転換させてしまう可能性を開示してみせているように見える、ということである。

今日の「応用倫理学」の最も重大な部門は、環境倫理と生命倫理である。述べてきたように、環境倫理こそは、リベリズムの最大のライバルである。それに対して<sup>(c)</sup>生命倫理は、リベリズムの徹底を代表している。

私的所有と自由とは（4）の関係にある。所有とは、対象物に対する<sup>(5)</sup>包括的な——無制限の——制御可能性のことである。「私」のみに限定された、包括的な制御可能性が承認されているような対象が、私的所有物である。つまり、私だけが、それをどのように扱ってもかまわない、ということが私的に所有されているということなのだ。<sup>(d)</sup>このような前提を採ると私的所有が承認されていない場合には、自由はありえないことになる。伝統的に私的所有がどのように正当化されてきたかを振り返ってみれば、生命倫理学の主流が、リベリズムの着想の非常に単純な徹底であることが容易に理解できる。

ある対象に対する私的な所有の権利は、どのように正当化されているのであろうか？ 私的所有権を哲学的に基礎づける議論の典型は、<sup>注八</sup>ジョン・ロックによつて与えられている。ロックによれば、<sup>A</sup>ある対象が<sup>B</sup>ある個人の労働の産物で<sup>C</sup>ある場合、その個人はその対象を所有することが正当化される。それでは、労働の産物に対する所有権が正当化されるのはなぜか？ ロックによれば、労働する身体が、その個人に所属することが自明だからである。私的所有のしたがってまた自由の究極の根拠は、ロックによれば、身体の自己所有にこそある。

このように議論を進めてくれば、生命倫理学の主流が、私的所有論を背景にした<sup>(e)</sup>伝統的なリベリズムの着想の、単純で忠実な再現であることが容易に理解できるだろう。生命倫理学の教科書的な主張は、身体についての決定は、その身体の所有者の自己決定に委ねるべきだ、という原則に要約することができる。たとえば、ここから、脳死と心臓死のどちらを死の定義として採用すべきかは、死にゆく当人が決定できるという結論が導かれる。こうした議論は、



一見、抗あらがいがたい説得力をもつ。その説得力の源泉は、ロック以来の伝統的な自由論が提起した論拠にこそある。(5)、身体こそは最も自明な私的所有物なのだから、身体についての決定が自由の領域に属するのは当然だ、というわけだ。<sup>(f)</sup>今日の生命倫理学は、伝統的な自由論においては単なる想定に過ぎなかったことを、一個の現実的な行為の問題として議論しているだけなのだ。ロックにおいては、身体が自己の所有物であるということは、論理が前提として<sup>⑥</sup>依拠する想定であるに過ぎず、このことが行為として現実化することはない。しかし、たとえば臓器移植が技術的に可能になった今日では、身体をまさに所有物として現実的に扱うことが主題化されるのだ。

(大澤真幸『自由という牢獄ろうごく 責任・公共性・資本主義』より。ただし、一部改変してある。)

注一 リベラリズム——個人の自由を尊重する考え方。

注二 エコロジー思想——人間生活と自然環境の調和、共存などを目指す考え方。

注三 コミット——関係すること。

注四 レイチエル・カーソン——アメリカの生物学者。一九六〇年代に農業として使う化学物質の危険性を取り上げ、『沈黙の春』を著し環境問題に人々の目を向けさせた。

注五 ローマ・クラブ——スイスに本部を置く民間の研究組織。環境破壊などの全地球的な人類の根源的な大問題に対処するために設立された。

注六 ミニマム——最小限。

注七 加藤尚武——日本の哲学者。

注八 ジョン・ロック——イギリスの哲学者。主に十七世紀に活躍した。イギリス経験論の父と呼ばれ、「自由主義の父」とも呼ばれた。

問一 傍線①・②・③のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線④・⑤・⑥の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問三 傍線(a)「二つの理念の間には、深い矛盾の亀裂が走っている」とあるが、それについて詳しく説明している段落を文章中から探し、はじめの五字を記入しなさい。

問四 傍線(b)「完全に封殺されてしまう」とはどういうことか、最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア ほとんどなくなってしまったこと      イ 極端に狭められてしまったこと  
ウ まったくなくなってしまうこと      エ あいまいになってしまったこと  
オ ほんの少ししか残らないこと

問五 空欄(1)・(2)・(3)に入る語の組み合わせとして最も適するものを

ア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- |   |   |    |   |    |   |    |   |   |    |   |    |   |    |
|---|---|----|---|----|---|----|---|---|----|---|----|---|----|
| ア | 1 | 無限 | 2 | 有限 | 3 | 有限 | イ | 1 | 無限 | 2 | 無限 | 3 | 有限 |
| ウ | 1 | 有限 | 2 | 有限 | 3 | 無限 | エ | 1 | 無限 | 2 | 有限 | 3 | 無限 |
| オ | 1 | 有限 | 2 | 無限 | 3 | 無限 |   |   |    |   |    |   |    |

問六 傍線(c)「生命倫理は、リベラリズムの徹底を代表している」理由として最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 生命倫理学は、もともとリベラリズムから生まれたものであるから。  
イ 生命倫理学には、身体についての決定までが自由の領域に属するから。  
ウ 生命倫理学は、死の定義に対する自由な議論を許容しているから。  
エ 生命倫理学には、臓器移植で他人の身体までを自由に扱えるから。  
オ 生命倫理学的には、当人には死にゆく自由までがあるから。

問七 空欄(4)に最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 取捨選択      イ 二者択一      ウ 本末転倒      エ 表裏一体      オ 因果応報

問八 傍線(d)「このような前提」の説明として最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 私的所有がロックによって正当化され、認められてきたという前提
- イ 現在われわれは、自由の理念の困難に直面しているという前提
- ウ 個人の労働の産物は、それを所有することが正当化されるという前提
- エ 今日われわれは、リベリズムが徹底した時代に生きているという前提
- オ 私的所有とは、対象物を自由に扱えることだという前提

問九 傍線A・B・Cの中から品詞が異なるものを一つ選び、その記号を記入しなさい。

問十 傍線(e)「伝統的なリベリズムの着想」は、何を根拠としているか、文章中から十九字の語句を探し、記入しなさい。

問十一 空欄(5)に最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア すると
- イ つまり
- ウ ところが
- エ しかも
- オ または

問十二 傍線(f)「今日の生命倫理学は、伝統的な自由論においては単なる想定に過ぎなかった」理由として最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア ロックの時代には、死の定義等生命倫理学に関する議論がなかったから。
- イ ロックの時代には、身体について倫理的に自己決定をすることがなかったから。
- ウ ロックの時代には、生死は倫理的には神の思し召しおぼの結果であったから。
- エ ロックの時代には、身体を所有物として扱うことは現実的にはなかったから。
- オ ロックの時代には、臓器を移植することが倫理的に許されなかったから。

[I]

国語

解答用紙一

問十二	問十一	問十	問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
										①	④
										②	⑤
										③	⑥

受験番号	
------	--



国  
語

解答用紙二

〔Ⅱ〕

	問十二	問十一	問十	問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一	
											④	①	
											⑤	②	
											⑥	③	

受験 番号		★ ★
----------	--	--------